

(第6条関係)

平成31年度 事業計画書

事業名	生活圏に「お節介な友達づくり」活動推進事業
団体名	介護・認知症の家族と歩む会・松戸

取り組もうとする松戸市のテーマ(課題)	<p>超少子高齢社会の今日、核家族、高齢者のみ世帯、単身高齢者世帯など生活圏内における相互扶助の精神・行動の再生の一助たる活動を目指します。</p> <p>松戸市民の生活の都市化により、個人生活優先が拡がり～心の過疎化～他人の存在に無関心な市民が多くなっているように感じています。地域内・生活圏内で安全に安心して暮らし続けるために最も重視しなければならない近所同士の繋がりが、余りにも希薄になっていることが、高齢社会に於ける介護・見守りを必要とする人の増加に対する不安の大きな要因になっています。</p> <p>急激に増加の一途をたどっている認知症を始め、様々な病気に介護・サポートを必要としている今日、当事者・介護家族を支える人材が～お節介な友達～地域パートナーの必要・重要性が増えています。急務と考えています。</p>												
目的	<p>我々の活動の主目的である、認知症の正しい理解と介護家族への、周囲の適切な関わり方等の情報提供活動を通じて、これからの介護に「お節介な友達」～地域パートナー～の必要性を訴え、生活圏での、繋がりを、積極的に関わってくれる人を、1人でも多く見つけ出すことを目指します。</p>												
事業内容	<p>平成31年度は、地域により密着した活動を推し進めます。</p> <ul style="list-style-type: none">・新たに、町会単位・生活圏内の活動に重点を置き活動し連携します。・認知症への理解を基礎から始めるため、認知症サポーター養成講座を開催する。・障がいを持つ人達、その関連団体との提携を進める。 <p>講座等～従来の認知症講座に「お節介な友達」の必要性・重要性を加える。 ワークショップ～宝探し～自己のフィルター・ラベルとの決別等 ～かがみ遊び～潜在意識の気づき。他者の理解。</p> <p>おしゃべり広場・交流会・相談会～総合的に行う</p> <p>2 スケジュール</p> <table border="1"><thead><tr><th></th><th>具体的な取り組み</th><th>場所</th></tr></thead><tbody><tr><td>毎月</td><td>おしゃべり広場・交流会・相談会*1</td><td>市民センター他</td></tr><tr><td>奇数月</td><td>ワークショップ *3</td><td>市民センター他</td></tr><tr><td>偶数月</td><td>講座 *2・*3</td><td>市民センター他</td></tr></tbody></table> <p>*1) おしゃべり広場・交流会・相談会は毎月、気軽に何気なく立ち寄れることを目指しているため、多くの市民(1回10人位まで)が、気軽に来れる会場を年間を通じ固定することが望ましい。</p> <p>*2) 講座にワークショップ部分(30分)組込む。</p> <p>*3) ワークショップ・講座の時間に、町会等の要望があった場合、認知症サポーター養成講座を年間4回程組み込むこともある。</p>		具体的な取り組み	場所	毎月	おしゃべり広場・交流会・相談会*1	市民センター他	奇数月	ワークショップ *3	市民センター他	偶数月	講座 *2・*3	市民センター他
	具体的な取り組み	場所											
毎月	おしゃべり広場・交流会・相談会*1	市民センター他											
奇数月	ワークショップ *3	市民センター他											
偶数月	講座 *2・*3	市民センター他											

<p>既存の事業から ステップアップ する部分 ※ステップアップ 助成のみ</p>	<p>従来の認知症当事者・介護家族と周辺の人達を対象に活動してきましたが、生活圏内の希薄化の解消に、より地道に、より小規模に、より身近な人々との「つなぎ役」となり生活圏内の個人への情報提供・機会の提供と、同時に生活圏内の人々との意識の共有を目指します。</p>
<p>事業の目標</p>	<p>平成31年度として、講座・ワークショップ各5回とおしゃべり広場・交流会・相談会10回を必ずクリア。地域パートナーとして共に活動してくれる仲間15人を目指します。</p>
<p>今後の展望</p>	<p>お節介な友達・地域パートナーが中心になって、各地域で「おしゃべり広場」や交流会等、を定期開催し、隣近所の不安の声の聞き役になってもらうことを願っています。</p>

(第6条関係)

平成31年度 事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

科目		金額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 40,000	対象事業費の一部及び対象外経費を団体の会計より拠出
	事業収入	¥ 35,000	500円(講座参加費)×70人(延べ人数)
		自己資金の合計額(A)	¥ 75,000
市	市民活動助成金(B)	¥ 200,000	
合計額(C) = (A+B)		¥ 275,000	

【支出】

科目		予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 15,000	3000円×5人
	印刷製本費	¥ 50,000	チラシ等 A4/40000枚 A3ポスター他
	消耗品費	¥ 30,000	A4用紙・50000枚 インク20本、封筒他
		¥ 4,800	薬草茶等製作費 おしゃべり広場・交流会等
	通信費	¥ 115,200	ハガキ800枚 切手800枚 周知用
	手数料	¥ 48,000	4000円/1000枚×12回 新聞折り込み
	使用料	¥ 12,000	会場費 12カ所 1000円
		対象経費の合計(D)	¥ 275,000
その他経費			
	その他経費の合計(E)	¥ 0	
合計額(F) = (D+E)		¥ 275,000	

【チェック項目】

- 1 助成金(B)が対象となる経費(D)欄の90%以内、自己資金(A)欄が対象経費(D)欄の10%以上であること。
- 2 助成金(B)が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。